

第5章 魅力・元気・文化を誇れるまち 第3節 観光・にぎわい

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)			
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	R1年度は対象事業が少なかったが、これまでは、本補助金の活用により、ソラバルや神明町の市など商店街組織を越えた新たな活性化事業が継続的に実施されており、今後も本補助金のPRを積極的にを行い、民間の中心市街地活性化事業を支援していく。	R1年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も	11. 住み続けられるまちづくりを			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	600千円	180千円	①補助対象事業数 ② ③	補助対象事業数	予算額400千円(1事業限度額200千円×2事業)									
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	600千円			200千円									
	所沢市中心市街地にぎわい創出支援事業補助金交付要綱	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.08人			0.00人									
	事業の目的及び具体的な内容	中心市街地における集客事業、資源を活かした取り組みの支援を目的に、中心市街地の各商店街の区域で実施される商店街及び中心市街地活性化拠点と連携した事業に対し補助金交付を行う。 補助額: 補助事業経費の2分の1以内(限度額20万円)。 補助回数: 同一団体へは3回を限度	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.12人	0.00人	実績	3件			1件			R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
	期間	H26～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.12人	0.00人	①1件 ② ③	R元年度目標			R1実績			対象事業を実施する団体が少なかったため。	R2年度目標	2件
	997千円	臨時職員	0.01人													
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	所沢市商店街連合会は、市内の多くの商店街が加入し、商店街の振興にとって重要な組織である。商店街振興を図るため、引き続き同会を支援していく。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	210千円	210千円	①会員数 ②事業費 ③	商店街連合会加盟商店街の会員数	目標値は前年実績。									
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	210千円			210千円									
	所沢市商工団体補助金交付要綱	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.13人			0.00人	実績			1,270店舗		1,263店舗	R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
	事業の目的及び具体的な内容	市内の商店街等で構成される商店街連合会を支援することにより、本市の商業振興を図るものである。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.09人	0.00人	①1,300事業者 ②12,318,782円 ③	R元年度目標			R1実績		商店街の会員は後継者の不足等の理由により減少傾向にあるため。	R2年度目標	1,199事業者	
	期間	S59～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.09人	0.00人										
	748千円	臨時職員	0.01人													
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	イベントの継続により、着実に市内内外から中心市街地への集客が図られてきている。今後も所沢市の魅力につながる中心市街地のイベントの拠点、情報の発信基地として重要性は増していくと思われる。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	3. すべての人に健康と福祉を			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	5,000千円	5,000千円	①自主事業開催回数 ②貸しスペース使用料収入 ③	来場者数及び参加者数	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している上半期の全てのイベントの中止が決定していること、施設の閉鎖及び縮小営業が見込まれることから、来場者数及び参加者数について、R元年度目標値の50%とした。									
	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	6,250千円			6,250千円									
	所沢市中心市街地活性化拠点施設運営要綱	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.27人			0.00人	実績			93,801人			82,478人	R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	事業の目的及び具体的な内容	商業の振興や来街者の増加を図り、中心市街地全体の活性化を目指す。当施設は、市民の交流の場・情報発信の拠点として各種の展示のほか、中心市街地でのイベントの開催も行っている。 【中心市街地活性化拠点施設運営事業として、施設の賃借料、光熱水費を所沢商工会議所と分担(所沢商工会議所負担分:1,250千円)】	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.27人	0.00人	①14回 ②195,000円 ③	R元年度目標			R1実績			新型コロナウイルス感染症の影響により、3月開催予定だった催事(新三八市)が中止となり、さらに同月の施設への来場者も減少したため。	R2年度目標	46,900人
	期間	H16～	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.57人	0.00人										
	4,738千円	臨時職員	0.01人													

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	商店街の会員は後継者の不足等の理由により減少傾向にある。補助金交付事務については効率的な事務運営を行っており、今後も同様の効果をあげていきたい。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	31,945千円	26,079千円										
	魅力ある商店街創出支援事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	①事業件数	平成30年度まで商店街振興に資するための総事業費(補助金＋商店街負担分) 令和元年度より商店街加盟店舗数	R1目標値が未達成の理由・分析						追加要望の案内を積極的に行い、追加の要望に対して素早く対応し補助した。	
		所沢市魅力ある商店街創出支援事業補助金交付要綱	44,430千円	36,026千円	②総事業費		H30年度目標	H30実績					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③		R元年度目標	R1実績					どのよう貢献したか	
		市内の商店街の振興と活性化を目的とし、補助金交付を行う。 ・共同施設整備事業 補助率:1/3以内 ・共同事業 補助率:事業内容により1/2、2/5、1/3以内 ・街路灯電気料 補助率:1/2以内	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績		1472店舗(加盟店舗数)	1356店舗(加盟店舗数)					各商店街の魅力ある商店街づくりに繋がる事業に対して等補助制度を通して支援した。	
	期間	S57～	0.44人	0.00人	①134件	R2年度目標								
		3,184千円	0.30人	②87,029,272円	1356店舗(加盟店舗数)									
		0.44人	0.00人	③										
		3,657千円	0.30人											
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	台風19号の影響で中止となってしまったが、引き続き所沢市最大のイベントの一つである、ところざわまつりを盛り上げていく。毎年、まつりを楽しみにしている人も多く、他市からの来場者には所沢市をアピールする良い機会でもある。商工会議所と協力しながら実施していきたい。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を 11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	4,000千円	4,000千円										
	ところざわまつり支援事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	①人出	人出	R1目標値が未達成の理由・分析						中止となったため実施していないが、まつり当日のスタッフ配置(市職員の配置)を工夫することで、人件費の削減に努める試みを実施する予定だった。	
		特になし	4,000千円	2,485千円	②パレード参加団体		H30年度目標	H30実績					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③		R元年度目標	R1実績					どのよう貢献したか	
		所沢の歴史と文化を後世に伝え、人と人のつながりや、商店街の活性化を始め、経済効果を生むところざわまつりの開催の支援を目的とする。実行委員会に対し、開催費を商工会議所と分担金として負担するとともに、山車運営委員会、イベント運営委員会の事務局を担当。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績		200,000人	220,000人					新型コロナウイルス感染症と共存したまつりの運営が求められる。ウイルスを正しく恐れ、リスクを最小限に留める一方で、これまでの伝統を重んじ、街の活性化に最大限寄与できるようにまつりの形を確立する必要がある。	
	期間	S63～	0.62人	0.00人	①0人	R2年度目標								
		5,196千円	0.30人	②0団体	220,000人	0人		どのよう貢献したか						
		0.73人	0.00人	③	R2年度目標									
		6,068千円	0.20人		250,000人									
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	当該事業は年々周知されており、相談件数も増加傾向にある。引き続き事業を実施していきたい。	R1年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も 11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,400千円	2,400千円										
	空き店舗活用・新規創業支援出店補助事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	①本補助金活用店舗数	本補助金活用店舗数	R1目標値が未達成の理由・分析						県事業「NEXT商店街プロジェクト」の本市での取組の中でも、本補助金のPRを行った。	
		所沢市空き店舗活用・新規創業支援出店補助金交付要綱	2,400千円	2,400千円	②		H30年度目標	H30実績					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③		R元年度目標	R1実績					どのよう貢献したか	
		新規創業者を支援して商業や商店街等の活性化を図るため、空き店舗を活用事業を始める者に、事業開始に必要な初期経費について補助する。市内商店街の空き店舗を利用し、にぎわいを創出する出店者を募集し、補助金を交付する。 ・補助金額 経費の1/3以内(限度額120万円)	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績		2店舗	2店舗					商店街の空き店舗は増加傾向にあるので、引き続き各種創業支援策と連携して本事業の活用を促す。	
	期間	H24～	0.13人	0.00人	①2店舗	R2年度目標								
		1,089千円	0.00人	②	2店舗	2店舗								
		0.31人	0.00人	③	2店舗									
		2,577千円	0.01人											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)												
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)											
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	東京オリンピック・パラリンピックの工事需要増加に伴い、工期の遅れは生じたが、令和2年5月に「ところざわサクラタウン」と物産館をつなぐブリッジが架設され、令和3年5月の開業に向けて整備が進められているところである。	R1年度に改善した点	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう												
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①既存建物の解体工事完了 ② ③	/	/	/			R1年度に改善した点		既存建物の解体工事が完了した。	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう										
	根拠法令		R1予算現額	R1決算額(見込み)											R1目標値が未達成の理由・分析	/	/	/	/	/				
	特になし		125,520千円	15,802千円																	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析	H30年度目標
	事業の目的及び具体的な内容		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	/	/	/			/		/	/	/	/								
	COOL JAPAN FOREST構想の周辺環境整備の一環として旧コンポストセンター跡地を活用し、バスターミナル、駐車場、所沢市の物産PR・販売拠点となるマルシェを作るもの。		0.00人	非常勤特別職 0.00人													R元年度目標	R1実績	R元年度目標	R1実績				
	期間		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①工事が完了した。	なし	なし	なし			なし		なし	なし	なし	なし	なし							
H29～		0.89人	非常勤特別職 0.00人	②	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし											
		7,398千円	臨時職員 0.00人	③	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし											
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	寿町及び元町地下駐車場とも、利用台数は堅調に推移しており、地元商店街の利便性にも役立っている。消費税の増税に伴う利用料金の改定や元町地下駐車場指定管理者の指定取消による運営方法の変更について、看板の設置等利用者に混乱を生じることがないように円滑に対応した。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを												
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	8,833千円	8,831千円	①寿町駐車場使用料収入 ②寿町駐車場実績台数 ③元町地下駐車場実績台数	/	/	/			/		/	/	/	/								
	根拠法令		R1予算現額	R1決算額(見込み)													実績	/	/	/	/	/	/	/
	所沢市寿町駐車場条例、所沢市元町地下駐車場条例		61,201千円	60,133千円																				
	事業の目的及び具体的な内容		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	/	/	/			/		/	/	/	/								
	地元商店街への買い物客の利便性を高め、商店街振興を図ることを目的とする。寿町駐車場及び元町地下駐車場の2ヶ所を対象とする。		0.20人	非常勤特別職 0.00人													R元年度目標	R1実績	R元年度目標	R1実績				
	期間		1,676千円	臨時職員 0.10人	①8,734,400円 ②66,045台 ③109,870台	114.0%	99.2%	114.0%			99.2%		114.0%	99.2%	114.0%	99.2%	114.0%							
S44～		0.65人	非常勤特別職 0.00人	①8,734,400円 ②66,045台 ③109,870台	99.2%	101.3%	99.2%	101.3%	99.2%	101.3%	99.2%	101.3%	99.2%											
		5,403千円	臨時職員 0.15人	①8,734,400円 ②66,045台 ③109,870台	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%	101.3%											
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	狭山丘陵の魅力伝えるツールとしてサイクリングを採用し、サイクリングマップとして「SAYAMA HILLS CYCLING MAP」を作成した。また、12月には、自転車をテーマにしたイベント「SAYAMA HILLS RIDE」を実施した。	R1年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに												
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	90千円	2千円	①共同事業への参加回数 ② ③	/	/	/			/		/	/	/	/								
	根拠法令		R1予算現額	R1決算額(見込み)													実績	/	/	/	/	/	/	/
	観光立国推進基本法		30千円	0千円																				
	事業の目的及び具体的な内容		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	/	/	/			/		/	/	/	/								
	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町で共同して狭山丘陵全体の魅力発信のための事業を行う。		0.61人	非常勤特別職 0.00人													R元年度目標	R1実績	R元年度目標	R1実績				
	期間		5,112千円	臨時職員 0.00人	①3回 ② ③	—	2回	—			2回		—	2回	—	2回	—							
H30～		0.23人	非常勤特別職 0.00人	①3回 ② ③	21回	27回	21回	27回	21回	27回	21回	27回	21回											
		1,912千円	臨時職員 0.00人	①3回 ② ③	22回	27回	22回	27回	22回	27回	22回	27回	22回											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出・発掘の取り組みを積極的に行った。一方で、荒天等の影響により実績は目標の約8割にとどまった。引き続き、多くの方に所沢市を訪れ、楽しんでもらえるよう、関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力の向上に努めていく。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	15. 陸の豊かさを守ろう	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	14,110千円	12,379千円	①トイレ清掃日数	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人の増加を目指す。				とところざわサクラタウンのオープンにあわせて、JR東所沢駅前の観光案内看板を更新した。また、老朽化した西武池袋線秋津駅北口の観光案内看板を更新した。ハイカーが多い狭山湖周辺に観光道標5基を新たに設置した。			
	観光拠点の整備・充実事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②桜並木ライトアップ日数		H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
		観光立国推進基本法	11,614千円	10,828千円	③狭山湖利用駐車場利用台数	6,091,209人		R元年度目標			R1実績			
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	5,700,000人					集計中			目標達成済
	市内の観光スポットの魅力を維持し、より発展させると共に、観光客の利便性を高めることを目的としている。具体的内容は次のとおり。 ・狭山湖駐車場観光トイレ管理 ・航空記念公園展示用輸送機維持管理 ・東川桜並木ライトアップ ・観光案内版修繕 ・道標修繕	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①313回	R2年度目標	6,600,000人	R元年度目標	R1実績			設置から10年以上が経過し、朽ちが著しい観光道標の設置更新が急がれる。また、老朽化した狭山湖観光トイレについて建て替えを含めた検討が必要である。			
	期間	H7~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合								②14	③57,169台	
期間	H7~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③57,169台				新たに設置した観光道標は、自然の中を歩き、森林や生物を鑑賞するコースとした						
期間	H7~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③57,169台				評価者 商業観光課長 柳田 晃芳						
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果目標の目標値を達成するだけでなく、事業者向けインバウンドセミナーへの延べ参加人数や指し会話シートの作成及び体験会の開始により、市内事業者のインバウンド対応への意識醸成が図られた。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じながら、反転攻勢の機会を逃さないよう、県・近隣市町村及び民間事業者と連携したプロモーション活動などを進める。	R1年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も	10. 人や国の不平等をなくそう	
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,100千円	1,100千円	①事業者向けインバウンドセミナーへの延べ参加人数	Facebook「いいね」とTwitterフォロワー数の合計	SNSが外国人旅行者の情報源の主流となっていることから、外国人旅行者における本市の関心度や情報発信の効果を図るFacebook「いいね」とTwitterのフォロワー数を指標とする。なお、この事業は平成30年度より開始したので、目標値の設定は令和元年度からとした。				一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団及び一般社団法人所沢市まちづくり観光協会と連携協定を締結し、観光スポット、医療機関、避難所情報等を8言語で掲載する「多言語観光情報サイトGuidoor(ガイドア)」の運用を開始した。			
	インバウンド戦略推進事業(COOL JAPAN FOREST 構想事業)	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	②指し会話シート体験会への延べ参加者数		H30年度目標	H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
		特になし	2,750千円	2,449千円	③	—		6,901人			R元年度目標			R1実績
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	実績	7,700人		8,642人						目標達成済
	観光を軸とした新たな魅力とにぎわいを創出し、地域産業全体の活性化を図るため、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催や「ところざわサクラタウン」の完成などを見据えた観光振興策の一環として、外国人観光客の誘致及び事業者の受入体制の整備を行う。 具体的な取り組み内容 ①事業者向けインバウンドセミナーや意見交換会の開催 ②「指し会話シート」の作成及び体験会の開催 ③外国人留学生等を対象としたモニターツアーの実施	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①65人	R2年度目標	8,600人	R元年度目標	R1実績			新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、「ところざわサクラタウン」の完成や2021年に延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、県・近隣市町村及び民間事業者と連携によるプロモーションを進める。			
	期間	H30~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合								②18人	③	
期間	H30~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	②18人				評価者 商業観光課長 柳田 晃芳						
期間	H30~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③										
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	魅力的な特産品の創出が事業目的となっていることから、創出促進のための各支援(補助支援・認定支援・販路支援)の実績値を目標値に設定した。	R1年度に改善した点	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう	11. 住み続けられるまちづくりを	
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,934千円	2,046千円	①補助対象事業申請件数 ②補助対象事業選定件数 ③認定商品申請件数 ④認定商品選定件数 ⑤販売協力店舗数(認定者自店舗含む)	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			どのように貢献したか
	所沢ブランド特産品創出支援事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)	実績		①3件 ②5件 ③10件	①3件 ②14件 ③15件				R元年度目標	R1実績	
		所沢ブランド特産品創出支援補助金交付要綱 所沢ブランド特産品認定要綱	3,622千円	2,930千円	①4件 ②3件 ③16件 ④13件 ⑤22店舗	①3件 ②5件 ③10件	①3件 ②13件 ③22件	目標達成済						
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①4件 ②3件 ③16件 ④13件 ⑤22店舗	R2年度目標	①-件 ②5件 ③10件	R元年度目標			R1実績	農工商連携推進事業と有機的に連動することはもちろん、地域経済の循環、雇用増加など、当事業の持つ効果を念頭に置いて進めていくことが重要。		
	平成29年度より実施している本事業は、「ところざわサクラタウン」の完成や東京オリンピック・パラリンピック開催等の好機を見据え、所沢を象徴する物産を訪日外国人客を含めた市内外に販売できるよう、地場農産物等を活かした特産品の創出を支援することを目的とする。 今後においても、地域経済の活性化や所沢ブランドの創造を図り、「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」重点プロジェクトに位置付けられた「COOL JAPAN FOREST構想」の推進に資していくものである。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①4件 ②3件 ③16件 ④13件 ⑤22店舗										
	期間	H29年度~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①4件 ②3件 ③16件 ④13件 ⑤22店舗						評価者 産業振興課長 森田 茂明			
期間	H29年度~	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①4件 ②3件 ③16件 ④13件 ⑤22店舗										

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和元年度は引き続き市施策用でのチケット引換券配布を実施した。また、市民ホールでのバレーグ優勝ペナント等の展示や、上下水道局と協同で優勝を記念したマンホール蓋を所沢駅の東西ロータリーに設置するなど広く埼玉西武ライオンズのPRに努めたため。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	29千円		①協定に基づく埼玉西武ライオンズとの協働事業の実施回数	協定に基づく埼玉西武ライオンズとの協働事業の実施回数	地域社会の発展や地域福祉の向上などに寄与することを目的として、平成27年3月に「所沢市と株式会社西武ライオンズとの連携協定に関する基本協定(フレンドリーシティ)」を締結している。なお、この事業は令和元年度より対象としたので、目標値の設定は令和元年度からとした。	R1年度目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令		R1予算現額	R1決算額(見込み)								②		
	特になし		0千円	0千円		③								
	ブランド価値の向上事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析					
			0.40人	非常勤特別職	0.00人		—	15回						
		3,352千円	臨時職員	0.15人	R元年度目標		R1実績							
期間	H17~	プロスポーツをはじめとする観光資源を積極的に取り上げ、本市ならではのブランド価値を高める”ふるさと所沢”への愛着やほこりを醸成していく。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		①10回	15回	10回		当初目標回数の実施を見込んでいたが、スケジュール等の関係により一部施設での事業(保育園・幼稚園等での事業)が中止となったため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	過年度に実施した埼玉西武ライオンズ応援キャンペーンや優勝バレードを機会に、より球団との連携を深めていく必要がある。また、さいたまブロンコスなど市内プロスポーツとの更なる連携も必要。	どのように貢献したか	協働事業の一環として、市内の老人福祉施設等で介護予防支援事業を実施した。
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	「クアオルト健康ウォーキング」を計31回実施するなど健康と観光を合わせた取組により、「健幸長寿」を推進したとともに、実践指導者の養成研修を実施し(計7名)、本事業の推進につなげたため。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	—	—		①実施回数	「クアオルト健康ウォーキング」実施回数	本事業は「クアオルト健康ウォーキング」を多くの人に利用してもらい、健康づくりや産業・観光振興、環境保全等の事業を推進することを目的とし平成30年度から開始し、令和元年度より対象としたため、目標値の設定は令和元年度からとした。	R1目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令		R1予算現額	R1決算額(見込み)								②		
	埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会補助金交付要綱		500千円	500千円		③								
	ヘルスツーリズム産業創出支援事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析					
			0.00人	非常勤特別職	0.00人		—	—						
		0千円	臨時職員	0.00人	R元年度目標		R1実績							
期間	R1~	埼玉県のヘルスツーリズム産業創出支援事業の一環として、クアオルト健康ウォーキングを活用した観光振興を実施するに当たり、関係団体と構成する「埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会」の運営が、円滑かつ効果的になされるよう支援を行う。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		①31回	30回	31回		目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、9月以降の実施を検討している状況であり、厚労省やスポーツ庁の指針を参考に、ツアー再開の準備を進める。また、航空記念公園等を活用した体験コース(仮)を実施し参加のハードルを下げることにより、利用者の拡大に努めていく。	地形の起伏をそのまま活かした「クアオルト健康ウォーキング」を推進し、生活習慣病や認知症の予防が期待され、市内の飲食店でクアオルト健康ウォーキングに適した地産地消メニューを提供するなど、関連産業の創出につなげた。	
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	講習会参加者の約72%から「内容に満足している」との声をいただいております。今後も周知に努め、多くの利用者に参加していただき技術向上に繋がるよう努めていく。	R1年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	330千円	250千円		①講習会参加人数 ②コンテスト参加人数 ③農作業体験参加人数	体験農場講習会参加人数	利用者の技術と意欲の向上、及び農業への関心に最も寄与していると思われる「体験農場講習会」の参加人数を指標とした。	R1目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令		R1予算現額	R1決算額(見込み)								①講習会参加人数		
	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律、所沢市特定農地貸付規程		271千円	156千円		②コンテスト参加人数								
	体験農場利用者ステップアップ事業	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		実績	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析					
			0.25人	非常勤特別職	0.00人		170人	66人						
		2,095千円	臨時職員	0.00人	R元年度目標		R1実績							
期間	H27年度~	体験農場利用者の農業技術の向上を図り、農業への関心を深めることで、農業の担い手確保につながるよう、講習会や野菜及び区画圃場コンテスト、農家での農作業体験を実施する。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		①29人	150人	29人		第2回の講習会は、2日間の開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、開催を中止したため、目標値を達成できなかった。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	継続的な事業実施によって、農業への関心を更に深め、利用者の技術向上と本格的な農業に関心のある人を掘り起こしていく。	どのように貢献したか	「農のあるまちづくり」を推進するとともに、農業への理解を深めた。

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	各種イベントやチラシ等で農産物直売所ガイドマップの周知を行うとともに、農業情報誌で生産者も紹介することにより、所沢産農産物のPRを図った。	R1年度に改善した点	1. 貧困をなくそう	13. 気候変動に具体的な対策を		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,737千円	3,694千円	①とこと市開催回数 ②とこと市売上実績 ③	所沢産農産物の直売所への出荷割合	地元の農産物がどれだけ所沢で消費されているかを測るため、市場に流通する農産物ではなく、地元の直売所又は、スーパーなどへの出荷を指標とした。	R1年度目標			H30実績			R1目標値が未達成の理由・分析	新たに所沢農産物ブランド化推進事業を設置し、地産地消の各事業の整理を行った。
	地産地消推進事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)								①とこと市開催回数	H30年度目標		
		事業の目的及び具体的な内容	2,463千円	1,927千円	②とこと市売上実績	R元年度目標	R1実績	HP等の各種媒体を有効活用することで、幅広い市民の方への地産地消のPRを行っていく。			どのよう貢献したか				
		新鮮でおいしい地元産農畜産物のPRを図り、地域で消費することにより、消費者の食の安心・安全へのニーズに応えるとともに、生産者の生産意欲の拡大を図る。そのために、地場産農産物の学校給食への導入及び品目拡大、市民への農産物のPR活動や生産者による直売会の開催、農産物直売所ガイドマップの作成等を実施することで、地産地消の推進を図る。また市内の直売施設のPR活動を進める。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③							R2年度目標	R1実績	農産物直売所ガイドマップについて、より多くの方に関心を持ってもらい、足を運んでもらうように、R3年度の改定に向けて検討を行っていく。	どのよう貢献したか
	期間	平成15年度～	0.78人	非常勤特別職 0.00人	実績	60%	64%	農業振興担当 青木 一圭							
			6,536千円	臨時職員 0.00人	①25回							60%	60%		
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	②5,922,885円	60%	60%									
		0.74人	非常勤特別職 0.00人	③					60%						
		6,151千円	臨時職員 0.00人		60%										
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額					項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	ほとんどの利用者は良好に耕作しているが、一部の利用者が複数回指導を受けることにより、目標値を達成できなかった。	R1年度に改善した点
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	845千円	822千円	①貸出区画数 ②受益者負担金 ③	利用者への指導件数	月1回、全体験農場を巡回し、利用・管理状況について確認を行っている。耕作状況が良くない区画について、利用者に伝え有効利用できるよう改善していただくとともに、自然とのふれあいや農業への理解の向上を図っているため、指導件数を指標としている。	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析	①指導を繰り返し受ける利用者が増えているため、農場内の啓発看板設置等、周知に努めた。 ②巡回等を効率的・重点的に行った。	11. 住み続けられるまちづくりを			
	体験農場推進事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)											
		特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律、所沢市特定農地貸付規程	3,231千円	2,805千円	②受益者負担金	50件以下	269件	指導件数は減ってきており、利用者へのルールの周知は図られている。一方で、除草をしないことや農機具残置などを繰り返す利用者がある。	農場の整備を進め、利用者満足度の向上に努めていくことで、利用者に対し、マナー順守につなげていく。	「農のあるまちづくり」を推進するとともに、農とふれあう機会を増やし、農業への理解を深めた、					
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③						R元年度目標	R1実績			農業振興担当 青木 一圭
		「農のあるまちづくり」を推進するため、市内7箇所に体験農場を設置し、貸し出しすることで、市民に農作業を体験していただき、農業への理解を深めてもらう。	0.64人	非常勤特別職 0.00人	実績	50件以下	152件	農業振興担当 青木 一圭							
	期間	S59年度～	5,363千円	臨時職員 0.00人	①391区画					100件以下					
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	②1,228,500円	100件以下										
		0.29人	非常勤特別職 0.00人	③					100件以下						
		2,410千円	臨時職員 0.10人		100件以下										
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額					項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	休日(日曜)開催としたことで、お茶の淹れ方講習会も定員以上の方に参加してもらったことができた。	R1年度に改善した点
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	220千円	220千円	①お茶の淹れ方講習会への参加者 ②茶摘み体験参加者 ③	お茶の淹れ方講習会への参加者	市民と茶生産者の交流の場とすることを目的としているため、お茶の淹れ方講習会への参加者を指標とする。また、目標値は講習会の定員数とする。	H30年度目標	H30実績	R1目標値が未達成の理由・分析	休日(日曜)開催としたことで、お茶の淹れ方講習会も定員以上の方に参加してもらったことができた。	2. 飢餓をゼロに			
	ところざわ新茶まつり開催支援事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)											
		所沢市補助金等交付規則 ところざわ新茶まつり開催費補助金交付要綱	220千円	220千円	②茶摘み体験参加者	48人	60人	事故防止のための駅前ロータリー横断の交通整理を行っていく。市内にとどまらず、豊島区など市外へも開催周知等による、狭山茶(新茶)の普及宣伝を図っていく。	市民と茶生産者の交流による、狭山茶の普及宣伝						
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③					R元年度目標	R1実績	農業振興課長 青木 一圭			
		新茶まつりの開催の支援を行うことで、所沢市の特産品である狭山茶の普及宣伝を行うとともに、市民と茶生産者の交流の場とすることを目的とする。所沢市茶業協会主催のもと、新茶の時期に合わせ、茶摘み体験、お茶の淹れ方講習会、手揉み茶の実演、新茶の試飲、販売などを実施している。平成30年度からは、会場を市役所西口広場から航空記念公園駅前広場に移して開催している。	0.24人	非常勤特別職 0.00人	実績	48人	64人	農業振興課長 青木 一圭							
	期間	H8年度～	2,011千円	臨時職員 0.00人	①60人					48人	64人				
		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	②50人	48人										
		0.20人	非常勤特別職 0.00人	③					48人						
		1,662千円	臨時職員 0.00人		48人										

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)					
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	天候に恵まれ、2日目の2時頃には、各店で売り切れになるなどし、売れ行きは好調であった。	R1年度に改善した点	1. 貧困をなくそう	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに					
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	500千円	500千円							R1年度に改善した点							
	農業祭開催支援事業	根拠法令	H30予算現額	R1決算額(見込み)	①農業祭実施	売上実績	所沢農産物を生産者が直接販売するイベントに於いての、所沢農産物の認知度や需要を知るために指標を売上実績とする。				R1予算現額	R1決算額(見込み)	②農業祭実行委員会	R1目標値が未達成の理由・分析	農業情報誌「とことこだより」をポスターとして活用することで、より多くの市民を対象にイベントの周知を図ることができた。「マチごと、プラスチックごみ削減」に取り組み、使い捨てプラスチック容器等を使用を控えた。	2. 飢餓をゼロに	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう	
		所沢市補助金等交付規則 所沢市農業振興総合対策要綱	500千円	500千円	③共進会・品評会						H30年度目標	H30実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					どのように貢献したか
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員 人件費	H30その他職員 従事割合	実績						4,500千円	4,596千円	品評会等の開催による生産技術の向上					
		販売会を通じて、生産者自らが販売することで、都市住民とのふれあいの機会を設ける。農業者は各種共進会や品評会において、生産技術の向上を図る。農業祭を実施するにあたり、農業団体代表が農業祭実行委員会を組織する。農業祭では、各々団体が出店や展示等を行い、各種共進会、品評会並びに即売会を開催する。農業祭開催の支援を通じて、都市住民との交流を深め、地産地消事業を推進する。	R1正規職員 人件費	R1その他職員 従事割合	①2日間						R元年度目標	R1実績	ポスターや農業情報誌等の活用による開催周知の拡大。本部テントの統合など、参加団体のテントレイアウトの検討。					
	期間	S53年度～	0.22人	非常勤 特別職	0.00人	②3回	4,500千円	4,136千円			評価者	農業振興担当 青木 一圭						
		1,844千円	臨時職員	0.00人	③5回	R2年度目標												
		2,992千円	臨時職員	0.00人		4,500千円												
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫体験では、市外の方からも毎回好評をいただいた。	R1年度に改善した点	1. 貧困をなくそう	4. 質の高い教育をみんなに					
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円							R1年度に改善した点							
	所沢農産物ブランド化推進事業	根拠法令	H30予算現額	R1決算額(見込み)	①体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫参加者	体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫参加者	市内外の親子が所沢農産物に直接触れ、理解を深めるイベントである体験学習型所沢農産物PR事業への参加人数を指標とした。				R1予算現額	R1決算額(見込み)	②	R1目標値が未達成の理由・分析	ブランド化推進事業を地産地消推進事業から独立させ、より市外の人へのアピールを意識して事業を推進した。	2. 飢餓をゼロに	11. 住み続けられるまちづくりを	
		-	1,456千円	914千円	③						H30年度目標	H30実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					どのように貢献したか
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員 人件費	H30その他職員 従事割合	実績						-	-	交流を図っている豊島区・上田市を含め、より多くの人に所沢産農産物を購入していただけるよう、広範な情報発信に向けて事業を検討していく。					
		消費者意識の多様化、品質志向等への変化が生じている中で、市内で生産された安全・安心、新鮮な農産物について、所沢産農産物としてブランド化を推進するため、市内のみならず市外の消費者に向けてPRするとともに、販路拡大を支援していくものである。オリジナルデザインシール(2種4シート)の作成及び配布、体験学習型所沢農産物PR事業の開催、所沢農産物応援隊によるPR活動、市内外でのPR活動、長野県上田市との産地交流による所沢農産物PR	R1正規職員 人件費	R1その他職員 従事割合	①20組(40人)						R元年度目標	R1実績	所沢農産物のブランド化を推進することによる市場価値の向上					
	期間	R1～	0.00人	非常勤 特別職	0.00人	②	20組(40名)	20組(40名)			評価者	農業振興課長 青木 一圭						
		0千円	臨時職員	0.00人	③	R2年度目標												
		4,322千円	臨時職員	0.00人		20組(40名)												
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出・発掘の取り組みを積極的に行った。引き続き、多くの方に所沢市を訪れ、楽しんでもらえるよう、関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力の向上に努めていく。	R1年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	8. 働きがいも経済成長も					
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,370千円	2,370千円							R1年度に改善した点							
	観光振興対策事業	根拠法令	H30予算現額	R1決算額(見込み)	①無料バス乗客数	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人の増加を目指す。				R1予算現額	R1決算額(見込み)	②所沢民謡まつり参加人数	R1目標値が未達成の理由・分析	事務職員を雇用し、事務所を中心市街地にある拠点施設内に設置した。多言語観光情報サイト(ガイドア)を運営する(一社)モバイルスマートタウン推進財団と所沢市と3者で「インバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定」を締結した。	11. 住み続けられるまちづくりを		
		所沢市観光団体補助金交付要綱	10,000千円	6,501千円	③観光パンフレット発行部数						H30年度目標	H30実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				どのように貢献したか	
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員 人件費	H30その他職員 従事割合	実績						5,600,000人	6,091,209人	新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに対応した事業の取り組みを検討し、実施する。					
		所沢の魅力在市内外に広くPRし、観光客の誘致を図る活動をしている所沢市観光協会に補助をすることにより、市のイメージアップや観光客増加、賑わいの創出、地域の活性化を図っている。	R1正規職員 人件費	R1その他職員 従事割合	①2,892						R元年度目標	R1実績	ガイドアによる多言語化。観光協会の法人化により民間の力を引き出しやすくした。					
	期間	S28年度～	0.61人	非常勤 特別職	0.00人	②710	5,700,000人	集計中			評価者	商業観光課長 柳田 晃芳						
		5,112千円	臨時職員	0.00人	③105,000	R2年度目標												
		9,476千円	臨時職員	0.35人		6,600,000人												

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
			会計	投入コスト		活動実績(R1)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)			
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	H30予算現額	H30決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	イベントでの「観光大使」や「トコロん」の出演、ロケーションサービス等により本市の魅力のPRを行うことができた。	R1年度に改善した点 ドラマ制作会社に対し、エキストラ出演を積極的に促し、市内外の撮影を含め、多くのエキストラが出演した。 市外イベントにJAYSと出演(すみだ、W杯、曼珠沙華まつり)。観光大使委嘱(春日)を動画配信した。相撲(北勝富士)特集号でPRした。トコロんPRIに専属アテンド採用し、効果あげた。	8. 働きがいも経済成長も	11. 住み続けられるまちづくりを	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,804千円	3,312千円		①ロケ実績	Facebook「いいね」とTwitterフォロワー数の合計		SNSを活用した情報発信の効果と、所沢への関心度を図るため採用した。 なお、この事業は令和元年度より対象としたので、目標値の設定は令和元年度からとした。							
	効果的な観光客誘致プロモーションの推進事業	根拠法令	R1予算現額	R1決算額(見込み)		②トコロん貸出件数	Facebook「いいね」とTwitterフォロワー数の合計		R1目標値が未達成の理由・分析							
		観光立国推進基本法	4,707千円	4,294千円		③市主催観光大使出演回数	H30年度目標		H30実績							
		事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		実績	R元年度目標		R1実績							
	期間	H3~	「観光大使」、イメージマスコット「トコロん」、観光ガイドブック、ロケーションサービス等を通じ、観光客誘致のためのプロモーションを行うもの。	2.88人	非常勤特別職	0.00人	①59	7,700人		8,642人						
				24,134千円	臨時職員	1.35人	②205	R2年度目標		8,600人						
				R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		③27									
				1.37人	非常勤特別職	0.00人										
				11,387千円	臨時職員	1.20人										